

アプライド・セラピューティクス

Japanese Journal of Applied Therapeutics

ISSN 1884-4278

第4回

日本アプライド・セラピューティクス学会学術大会

プログラム・抄録集



日本アプライド・セラピューティクス学会
Japanese Society for Applied Therapeutics

Vol.5 Supplement July 2013

第4回

日本アプライド・セラピューティクス学会 学術大会

The 4th Annual Meeting of Japanese Society for Applied Therapeutics

プログラム・抄録集

患者さんのための薬物治療を実践するには

～ヒトとヒトのコミュニケーションにヒントがある～

会期 2013年7月27日(土)・28日(日)

会場 東京女子医科大学 弥生記念講堂・臨床講堂

大会長 志賀 剛
(東京女子医科大学 循環器内科)

目 次

■ 開催にあたって	3
■ 参加者へのご案内	4
■ 座長・演者へのご案内	6
■ 交通案内	8
■ 会場案内	9
■ 日程表	10
■ 役員リスト・後援団体	12
■ プログラム	13
■ 抄 録	
特別講演	26
基調講演	26
教育セミナー	27
シンポジウム	30
パネルディスカッション	36
一般演題	39
委員会報告	47
■ 協賛企業一覧	48

開催にあたって

この度、平成 25 年 7 月 27 日（土）・28 日（日）の 2 日間、東京女子医科大学弥生記念講堂において「第 4 回日本アプライド・セラピューティクス学会学術大会」を開催する運びとなりました。

日本アプライド・セラピューティクス学会は、医療を受ける患者に対して安心、安全かつ良質な薬物治療を提供するために、科学的で合理的なエビデンスに基づいた標準薬物治療の確立とともに、患者の視点・価値観に立った薬物治療の具体的な実践に向けた研究と評価、さらにその推進と啓蒙、そして実際に臨床現場で薬物治療を担う医療者の教育を活動の目的としています。とくに本学会では、医師や薬剤師、看護師など専門領域や職種の枠にとらわれず、従来の学会では見落とされがちな共通言語の確立、疾病・治療に関する正確な情報共有、そして医療者間あるいは医療者・患者間のコミュニケーション・相互理解の向上を大きな柱にしています。

本学術大会では、「患者さんのための薬物治療を実践するには～ヒトとヒトのコミュニケーションにヒントがある～」をテーマに臨床現場が抱える医療者間あるいは対患者との情報共有、コミュニケーションに関する問題に焦点を合わせたいと考えています。シンポジウムでは「臨床現場におけるコミュニケーション」、「適切な薬物治療を実践するコミュニケーション力を持った薬剤師を育てる」、「地域における適正で合理的な薬物治療を進めるために～薬剤師が医師と協働で薬物治療を担うには～」といったさまざまなステージにおける問題や取り組みについて議論いただきます。また、パネルディスカッションでは「在宅医療と薬物治療法（地域医療でのコミュニケーション）」、「薬剤師が担うセルフメディケーション」というこれからの薬物治療における課題を取り上げました。教育セミナーでは「薬が生まれて育つまで」と題して薬の開発から治験、市販後調査、市販後臨床試験までの流れを理解していただく機会を設け、さらに「正しく理解しようジェネリック医薬品の品質と情報」、「臨床試験を個々の患者に利用する EBM 実践法」という薬物治療の実践に役立つテーマも用意しています。また、本学術大会では医師と薬剤師で症例をベースに薬の使い方を討論するワークショップを 2 日間にわたり行い、日々遭遇する疾患（糖尿病、うつ病、呼吸器感染症、高齢者心不全、てんかんなど）をじっくり学んでいただける企画も用意しています。

本学術大会を通して、明日からの医療にすこしでもお役に立てることがあればと願っております。これから薬物治療に携わる方から日々現場で頑張っておられる方まで、多くの方々にご参加いただけるようお待ちしております。

第 4 回日本アプライド・セラピューティクス学会学術大会

大会長 志賀 剛

（東京女子医科大学 循環器内科）

参加者へのご案内

1. 学術大会への参加について

(1) 受付：

学術大会参加受付は、東京女子医科大学 弥生記念講堂(1階エントランスホール)で行います。

7月27日(土) 9:00~16:30

7月28日(日) 8:30~16:00

(2) 事前登録：

事前参加登録者には、事前に参加証(ネームカード)・抄録集を発送しております。当日は必ず参加証をお持ちください。事前参加登録者で、当日抄録集が必要な方は、別途購入していただくことになります。当日抄録集を必要とされる方は、発送しております抄録集をお持ちください。

(3) 当日登録：

当日参加申込をされる方は、当日受付にて参加申込書に必要事項を記入し、参加費をお支払の上、参加証(ネームカード)および抄録集をお受け取りください。ただし、会員の方には事前に抄録集を送付してあり、当日配布はいたしませんのでご了承ください。

(4) 参加証(ネームカード)：

各会場へ入場の際は、所属・氏名を記入した参加証が良く見えるように装着してください。参加証を装着していない方は入場をお断りします。

●参加費一覧

		事前参加登録	当日参加登録
■学術大会参加費	◆会員	7,000円	9,000円
	◆非会員	9,000円	11,000円
	◆学生	-	2,000円
■情報交換会費	参加費に含まれております。		

(ご注意) 事前参加申込は2013年6月21日(金)までにお申し込みをし、かつ6月25日(火)までにお振込みをされた方に限ります。システムにて事前登録をしても、お振込みが確認出来ていない場合は、当日参加登録費扱いになります。

2. 抄録集：

会員の方には抄録集を事前に送付しております。当日参加登録をされる方には、受付にてお渡しいたします。また、別途購入を希望される方には、会場にて販売いたします。【2,000円(税込)】

3. 入会：

入会希望の方は、「総合受付」(弥生記念講堂・1階エントランスホール)で手続きをしてください。

4. 評議員会：

7月27日(土) 12:30~13:30 第3会場(臨床講堂2)

5. 総会：

7月28日(日) 13:30~14:00 第1会場(弥生記念講堂)

6. 情報交換会への参加について

情報交換会場は27日（土）17時45分より、佐藤記念館（食堂）で開催いたします。ぜひご参加ください。（情報交換会の参加費は、大会参加費に含まれております）

7. 学術大会運営について

(1) 質疑のある場合：

質疑、討論は必ず座長の指示に従い、所属・氏名を告げてから発言してください。

(2) 呼び出し：

会場内での呼び出しは、原則的に行いません。総合受付付近にある掲示板に伝言メモを貼り付けてください。なお、外部からの緊急連絡のみ、各会場においてセッションの合間に座長より会場内にアナウンスします。

(3) スライド撮影：

撮影はご遠慮ください。

(4) 喫煙：

講演会場を含め、敷地・施設内は全面禁煙となっております。

(5) クローク：

弥生記念講堂入口（1階）脇にあるクロークをご利用ください。

(6) 携帯電話等：

講演会場内では、携帯電話等は必ず電源を切るか、マナーモードに切り換えてください。

8. その他

(1) 大会本部：

E会議室（B1階）に「大会本部」を設置します。

(2) 駐車場：

大会専用の駐車場は用意しておりません。近隣の一般駐車場（有料）をご利用されるか、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

9. 単位取得について

本大会は、日本薬剤師研修センターの集合研修会となっております。受講シールが必要な方は、総合受付でお渡しします。

（27日：3単位、28日：3単位、両日：6単位）

座長・演者へのご案内

■ 座長の皆様へ（基調講演・特別講演・教育セミナー・シンポジウム・パネルディスカッション・症例検討ワークショップ・一般演題・委員会報告）

- ・担当セッション当日は、弥生記念講堂（1階エントランスホール）総合受付にある「座長・演者受付」にセッション開始1時間前までにお越しいただき、受付を済ませてください。
- ・開始時間10分前までに、会場の「次座長席」でお待ちください。
- ・担当セッションは、予定時間に終了しますようご配慮ください。

■ 【第1会場】演者の皆様へ（基調講演・特別講演・教育セミナー・シンポジウム・パネルディスカッション・一般演題・委員会報告）

- ・担当セッション当日は、弥生記念講堂（1階エントランスホール）総合受付にある「座長・演者受付」にセッション開始1時間前までにお越しいただき、受付をお済ませください。（「データ受付」は行っておりません）
- ・発表は各自のPCをご持参ください。また、持参いただくPCは可能な限りWindows PCをお願いいたします。
- ・開始時間10分前までに、PCを会場内オペレート卓（会場向かって前方左手）にいるPCオペレーターへお持ちいただき、モニター出力をご確認ください。確認後は、会場の「次演者席」でお待ちください。
- ・スクリーンセーバーや省電力設定は、事前に解除しておいてください。
- ・発表する内容のPowerPointは、立ち上げておいてください。
- ・発表の順番が来ましたら、壇上にお上がりください。PCオペレーターがプロジェクターの接続を切り替えます。スライド操作はご自身で行ってください。
- ・発表が終わりましたら、PCオペレーターからPCをお受け取りください。
- ・トラブル回避のため、バックアップ用データ（USBメモリー）を必ずご持参ください。また、PCのAC用電源アダプターは必ずご用意ください。

■ 【第2・3会場】演者の皆様へ（シンポジウム・パネルディスカッション・症例検討ワークショップ・一般演題）

- ・担当セッション当日は、弥生記念講堂（1階エントランスホール）総合受付にある「座長・演者受付」にセッション開始1時間前までにお越しいただき、受付をお済ませください。（「データ受付」は行っておりません）
- ・発表は各自のPCをご持参ください。また、持参いただくPCは可能な限りWindows PCをお願いいたします。
- ・開始時間10分前までに、PCをお持ちいただき、会場の「次演者席」でお待ちください。
- ・スクリーンセーバーや省電力設定は、事前に解除しておいてください。
- ・発表する内容のPowerPointは、立ち上げておいてください。
- ・発表の順番が来ましたら、PCをお持ちになって壇上にお上がりください。演台にあるケーブルとPCとを接続していただき、スクリーンの表示をご確認ください。スライド操作はご自身で行ってください。

- ・発表が終わりましたら、PCを外してご降壇ください。
- ・トラブル回避のため、バックアップ用データ（USBメモリー）を必ずご持参ください。また、PCのAC用電源アダプターは必ずご用意ください。

■ 一般演題の発表に関して

- ・口頭発表は、1演題につき持ち時間10分（発表7分、質疑応答3分）ですので、発表時間を厳守していただくようお願いいたします。

■ 使用機材に関して

- ・プレゼンテーション機材は、液晶プロジェクター（対応解像度 XGA 1024×768）を用意いたします。この解像度より大きい場合、スライドの周囲が切れてしまったり、映らない場合がありますので、事前に Windows 2007 対応解像度 XGA（1024×768）への設定をお願いします。
- ・プロジェクターのモニター端子は、ミニ Dsub 15 ピンです。変換コネクタが必要な場合は、ご自身でお持ちください。
- ・音声出力はご使用いただけません。

交通案内



■会場：東京女子医科大学「弥生記念講堂、その他」

〒162-8666 東京都 新宿区 河田町8-1

TEL : 03-3353-8111(代)

■交通のご案内

1) 徒歩でご来場の場合

都営大江戸線「若松河田駅」下車 (若松口より徒歩5分)

都営大江戸線「牛込柳町駅」下車 (西口より徒歩5分)

都営新宿線「曙橋駅」下車 (A2出口より徒歩8分)

2) 都営バスをご利用の場合

宿74系統：新宿駅西口より乗車⇒「東京女子医大前」下車

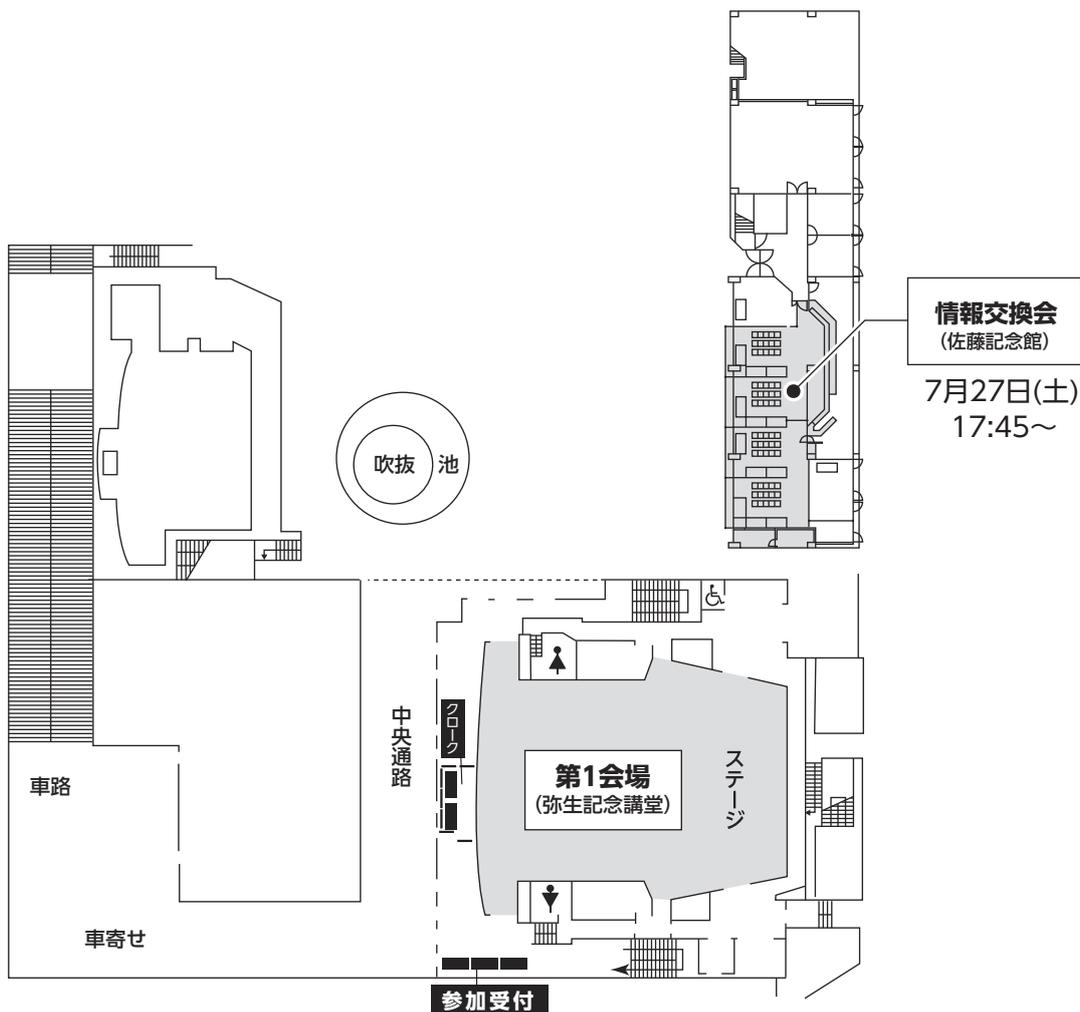
宿75系統：JR新宿駅西口より乗車⇒「東京女子医大前」下車

高71系統：JR「高田馬場駅」前より乗車⇒「東京女子医大前」下車

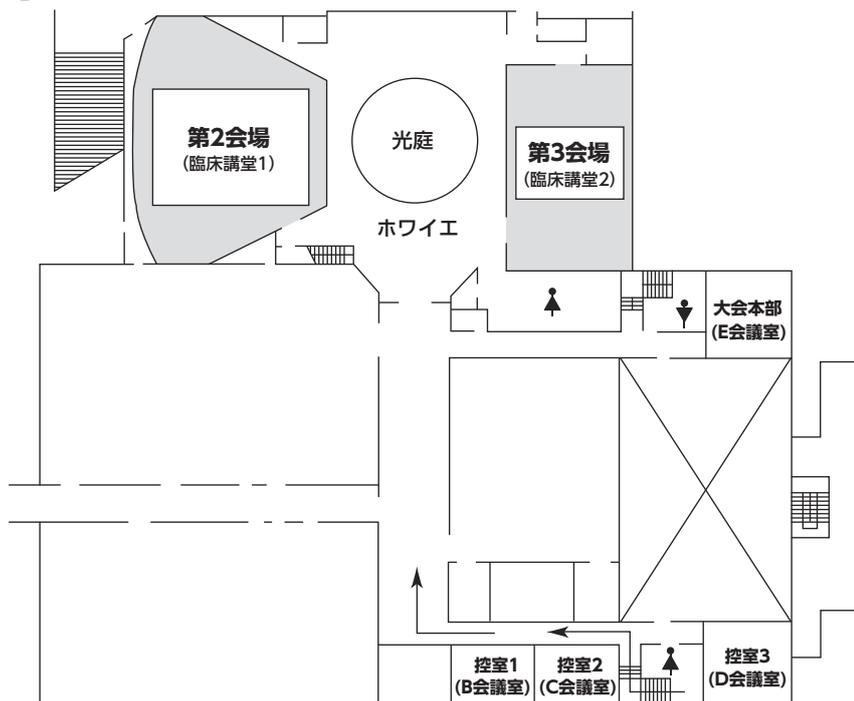
早81系統：丸ノ内線「四谷三丁目駅」より乗車⇒「東京女子医大前」下車

会場案内

【1階】



【地下1階】



日程表 【1日目 (7月27日土曜日)】

	第1会場 (弥生記念講堂)	第2会場 (臨床講堂 1)	第3会場 (臨床講堂 2)
9:00	受付 (9:00~16:30)		
10:00	9:50~10:00 開会式 10:00~10:45 基調講演 「薬物治療の成功にはコミュニケーションが必要」 座長：住吉 徹哉(榊原記念病院 循環器内科) 演者：志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科)		
11:00	10:45~12:15 シンポジウム 1 「臨床現場におけるコミュニケーション」 座長：高見澤 格(榊原記念病院 循環器内科) 座長：川名 純一(医薬品医療機器総合機構) 演者：山岡 和幸(前橋北病院 薬局) 演者：鈴木 豪(東京女子医科大学 循環器内科) 演者：安達 博(市民調剤薬局) 演者：池上 晴彦(池上内科循環器内科クリニック) 演者：高田 めぐみ(榊原記念クリニック 薬剤科)		
12:00			
13:00	12:30~13:30 ランチョンセミナー 1 「心房細動の抗血栓療法： 大規模臨床試験のピットフォール」 座長：松本 直樹(聖マリアンナ医科大学 薬理学) 演者：山下 武志(心臓血管研究所) 共催：エーザイ株式会社	12:30~13:30 ランチョンセミナー 2 「CKDの薬物療法の実際 ～Key wordは高齢化と降圧剤～」 座長：明石 貴雄(東京医科大学病院 薬剤部) 演者：土谷 健(東京女子医科大学 第四内科) 共催：第一三共株式会社	12:30~13:30 評議員会
14:00	13:45~15:15 教育セミナー 1 「薬が生まれて育つまで： 薬の開発～治験～承認～販売後まで」 座長：熊谷 雄治(北里大学東病院 治験管理センター) 座長：志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科) 演者：寺尾 公男(中外製薬) 演者：角南 由紀子(中通総合病院 内科) 演者：大倉 成美(医薬品医療機器総合機構) 演者：藤 貴士(医薬品医療機器総合機構) 演者：松本 直樹(聖マリアンナ医科大学 薬理学)	13:45~14:45 パネルディスカッション 1 「在宅医療と薬物療法(地域医療でのコミュニケーション)」 座長：青山 幸生(東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科) 座長：松本 宜明(日本大学 薬学部) 演者：太田 雅也(世田谷ホームケアクリニック) 演者：朝子 ひろ子(セコム訪問看護ステーションくがやま) 演者：長野 一勢(セコム薬局杉並)	13:45~14:45 症例検討ワークショップ① 「呼吸器感染症」 座長：大澤 友二(前昭和薬科大学) 演者：時松 一成(大分大学医学部附属病院 呼吸器内科)
15:00		15:00~16:30 一般演題 2 座長：上野 高浩(日本大学 医学部) 座長：小林 賢滋(大崎病院東京ハートセンター 薬剤部)	15:00~16:00 症例検討ワークショップ② 「在宅医療(高齢者心不全)」 座長：長沼 美代子(東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター) 演者：弓野 大(ゆみのハートクリニック)
16:00	15:30~16:30 一般演題 1 座長：田中 恒明(大和市立病院 薬剤科) 座長：浜口 和己(フィールド薬局)		
17:00	16:30~17:30 教育セミナー 2 「臨床試験を個々の患者に利用する EBM実践法～薬剤師の役割は？」 座長：越前 宏俊(明治薬科大学 薬物治療学) 座長：植田 真一郎(琉球大学 大学院医学研究科 臨床薬理学) 演者：南郷 栄秀(東京北社会保険病院 総合診療科)		
18:00	17:45~	情報交換会 佐藤記念館(食堂)	

日程表 【2日目 (7月28日 日曜日)】

	第1会場 (弥生記念講堂)	第2会場 (臨床講堂 1)	第3会場 (臨床講堂 2)
8:30	受付 (8:30~16:00)		
9:00	9:00~10:30 シンポジウム2 「適切な薬物治療を実践するコミュニケー ション力を持った薬剤師を育てる」 座長：木内 祐二(昭和大学 薬学部) 座長：明石 貴雄(東京医科大学病院 薬剤部) 演者：木内 祐二(昭和大学 薬学部) 演者：野呂瀬 崇彦(北海道薬科大学 薬事管理学分野) 演者：土居 由有子(アインファーマシー) 演者：丸岡 充(文部科学省)	9:00~10:30 シンポジウム3 「地域における適正で合理的な薬物治療を進めるために ～薬剤師が医師と協働で薬物治療を担うためには～」 座長：緒方 宏泰(明治薬科大学名譽教授) 座長：崎山 弘(崎山小児科) 演者：大澤 光司(メディカルグリーン) 演者：孫 尚孝(ファーマシイ 在宅推進部) 演者：宮崎 長一郎(長崎県薬剤師会)	9:30~10:30 症例検討ワークショップ③ 「精神科領域：うつ」 座長：鈴木 豪(東京女子医科大学 循環器内科) 演者：西村 勝治(東京女子医科大学 医学部 精神医学)
10:00	10:30~11:15 特別講演 「薬剤師の未来」 座長：志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科) 演者：笠貫 宏(早稲田大学)		
11:00	11:20~12:05 一般演題 3 座長：上野 和行(新潟薬科大学 薬学部) 座長：越前 宏俊(明治薬科大学 薬物治療学)		
12:00	12:15 ~13:15 ランチョンセミナー 3 「新規経口抗凝固薬の適正使用： 患者さんのために」 座長：植田 真一郎(琉球大学 大学院医学研究科 臨床薬理学) 演者：長尾 毅彦(東京女子医科大学 神経内科) 共催：日本ベリンガーインゲルハイム株式会社	12:15 ~13:15 ランチョンセミナー 4 「専門家って何？ ーてんかんの診療を例にー」 座長：木村 利美(東京女子医科大学病院 薬剤部) 演者：高橋 孝雄(慶應義塾大学医学部 小児科学教室) 共催：興和創薬株式会社	
13:00	13:30~14:00 総会		
14:00	14:00~14:50 教育セミナー 3 「正しく理解しようジェネリック 医薬品の品質と情報」 座長：増原 慶壮(聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部) 演者：四方田 千佳子(医薬品医療機器総合機構)		14:00~15:00 症例検討ワークショップ④ 「糖尿病」 座長：志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科) 演者：角南 由紀子(中通総合病院 内科)
15:00	15:00~16:00 パネルディスカッション 2 「薬剤師が担うセルフメディケーション」 座長：川瀬 祐子(アインファーマシー) 座長：福岡 勝志(日本調剤) 演者：木内 祐二(昭和大学薬学部) 演者：高橋 寛(秋田県薬剤師会)		15:00~16:00 症例検討ワークショップ⑤ 「てんかん」 座長：長沼 美代子(東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター) 演者：川上 康彦(日本医科大学多摩永山病院 小児科)
16:00	16:00~16:30 委員会報告 座長：緒方 宏泰(明治薬科大学名譽教授)		
17:00	16:30~ 閉会式		
18:00			

役員リスト・後援団体

- 大会長** 志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科)
- 組織委員会委員長** 住吉 徹哉 (榊原記念病院 循環器内科)
- 組織委員会副委員長** 藤垣 哲彦 (日本薬剤師会)
- 組織委員**
- 青山 幸生 (東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科)
- 明石 貴雄 (東京医科大学病院 薬剤部)
- 上野 高浩 (日本大学 医学部)
- 越前 宏俊 (明治薬科大学 薬物治療学)
- 緒方 宏泰 (明治薬科大学名誉教授)
- 川上 康彦 (日本医科大学多摩永山病院 小児科)
- 川瀬 祐子 (株式会社アインファーマシーズ 研修部)
- 川名 純一 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)
- 木内 祐二 (昭和大学 薬学部 薬学教育推進室)
- 木村 利美 (東京女子医科大学病院 薬剤部)
- 熊谷 雄治 (北里大学東病院 治験管理センター)
- 小林 賢滋 (大崎病院 東京ハートセンター 薬剤部)
- 崎山 弘 (崎山小児科)
- 白井 正一 (株式会社エイトライフ)
- 高田めぐみ (榊原記念クリニック 薬剤科)
- 高見澤 格 (榊原記念病院 循環器内科)
- 田中 恒明 (大和市立病院 薬剤科)
- 長沼美代子 (東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター)
- 浜口 和己 (フィールド薬局)
- 福岡 勝志 (日本調剤株式会社 教育情報部)
- 古家 恵子 (ヨリコ戸山クリニック)
- 増原 慶壮 (聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)
- 松本 宜明 (日本大学 薬学部)
- 山岡 和幸 (前橋北病院 薬局)
- 後 援** 厚生労働省、公益社団法人神奈川県病院薬剤師会、公益社団法人神奈川県薬剤師会、一般社団法人千葉県薬剤師会、社団法人千葉市薬剤師会、茨城県病院薬剤師会、群馬県薬剤師会、一般社団法人群馬県薬剤師会、一般社団法人山梨県薬剤師会、公益社団法人新潟県薬剤師会、一般社団法人東京都病院薬剤師会、公益社団法人東京都薬剤師会、一般社団法人埼玉県病院薬剤師会、一般社団法人埼玉県薬剤師会、一般社団法人栃木県病院薬剤師会、北海道病院薬剤師会、公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人日本医療薬学会、社団法人日本薬局学会、DPC マネジメント研究会、一般社団法人日本病院薬剤師会
- (平成25年7月現在 順不同)

プログラム

プログラム

◆7月28日(日) 2日目：第1会場(弥生記念講堂)

特別講演

(10:30~11:15)

座長：東京女子医科大学 循環器内科 志賀 剛

薬剤師の未来

早稲田大学特命教授、東京女子医科大学名誉教授

○笠貫 宏

◆7月27日(土) 1日目：第1会場(弥生記念講堂)

基調講演

(10:00~10:45)

薬物治療の成功にはコミュニケーションが必要

座長：榊原記念病院 循環器内科 住吉 徹哉

患者さんのための薬物治療を実践するには
～ヒトとヒトのコミュニケーションにヒントがある～

東京女子医科大学 循環器内科

○志賀 剛

◆7月27日(土) 1日目：第1会場(弥生記念講堂)

教育セミナー1

(13:45~15:15)

薬が生まれて育つまで：薬の開発～治験～承認～販売後まで

座長：北里大学東病院 治験管理センター 熊谷 雄治
東京女子医科大学 循環器内科 志賀 剛

ES1-1 薬が生まれて育つまで(創薬そして治験)

中外製薬株式会社 臨床企画推進部

○寺尾 公男

ES1-2 薬が生まれて育つまで： 薬の開発～治験～承認～販売後まで

社会医療法人明和会 中通総合病院 内科

○角南由紀子

ES1-3 新薬の審査について

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

○大倉 成美

ES1-4 医薬品の市販後安全対策について

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全第二部
○篠 貴士

ES1-5 市販後臨床試験

聖マリアンナ医科大学 薬理学
○松本 直樹

◆7月27日(土) 1日目:第1会場(弥生記念講堂)

教育セミナー2

(16:30~17:30)

座長: 明治薬科大学 薬物治療学 越前 宏俊
琉球大学 大学院医学研究科 臨床薬理学 植田真一郎

ES2 臨床試験を個々の患者に利用する EBM 実践法~薬剤師の役割は?

東京北社会保険病院 総合診療科
○南郷 栄秀

◆7月28日(日) 2日目:第1会場(弥生記念講堂)

教育セミナー3

(14:00~14:50)

座長: 聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 増原 慶壮

ES3 正しく理解しようジェネリック医薬品の品質と情報

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
○四方田千佳子

◆7月27日(土) 1日目:第1会場(弥生記念講堂)

シンポジウム1

(10:45~12:15)

座長: 榊原記念病院 循環器内科 高見澤 格
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 川名 純一

臨床現場におけるコミュニケーション

S1-1 薬剤師が考えるチーム医療における薬剤師の役割

医療法人 前橋北病院 薬局
○山岡 和幸

S1-2 現場での多職種間コミュニケーション

東京女子医科大学 循環器内科
○鈴木 豪、志賀 剛、萩原 誠久

- S1-3 薬薬連携を通じた外来診療との情報共有
株式会社市民調剤薬局
○安達 博
- S1-4 保険薬局と外来診療のコミュニケーション
～地域密着の当院での取り組み～
医療法人社団桜晴会 池上内科循環器内科クリニック
○池上 晴彦
- S1-5 薬剤師に必要な患者とのコミュニケーションスキル
公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会 榊原記念クリニック
○高田めぐみ

◆7月28日(日) 2日目：第1会場(弥生記念講堂)

シンポジウム2

(9:00~10:30)

適切な薬物治療を実践するコミュニケーション力を持った薬剤師を育てる

座長：昭和大学 薬学部 木内 祐二
東京医科大学病院 薬剤部 明石 貴雄

- S2-1 総合大学における取組みと目指す薬剤師像
－昭和大学における体系的、段階的なチーム医療教育－
昭和大学 薬学部薬学教育学
○木内 祐二
- S2-2 臨床対応能力の向上を目的とした統合型プログラムの実践とその評価
北海道薬科大学
○野呂瀬崇彦、今田 愛也、戸田 貴大、早勢 伸正、藤本 哲也、古田 精一、
町田麻依子
- S2-3 保険薬局におけるコミュニケーション力を持った薬剤師を育てる
株式会社アインファーマシーズ
○土居由有子
- S2-4 行政からの期待
文部科学省 高等教育局 医学教育課
○丸岡 充

◆7月28日(日) 2日目:第2会場(臨床講堂1)

シンポジウム3

(9:00~10:30)

地域における適正で合理的な薬物治療を進めるために
～薬剤師が医師と協働で薬物治療を担うためには～

座長: 明治薬科大学名誉教授 緒方 宏泰
崎山小児科 崎山 弘

- S3-1 在宅医療における情報共有からみた、薬剤師と医師の協働とは
株式会社メディカルグリーン
○大澤 光司
- S3-2 なぜ、薬局薬剤師が在宅チームから信頼を得ることができたのか?
～在宅での共同薬物治療管理の実践～
株式会社ファーマシイ 在宅推進部
○孫 尚孝
- S3-3 長崎地域医療連携ネットワーク「あじさいネット」の薬局薬剤師における活用と今後
長崎県薬剤師会
○宮崎長一郎

◆7月27日(土) 1日目:第2会場(臨床講堂1)

パネルディスカッション1

(13:45~14:45)

在宅医療と薬物治療法(地域医療でのコミュニケーション)

座長: 東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科 青山 幸生
日本大学 薬学部 松本 宣明

- PD1-1 在宅医療における多職種連携と薬物療法
～在宅医の立場から～
医療法人社団真医会 世田谷ホームケアクリニック
○太田 雅也
- PD1-2 在宅療養環境と薬物療法
～訪問看護の立場から～
セコム訪問看護ステーションくがやま
○朝子ひろ子
- PD1-3 在宅医療において調剤薬局がとるべき多職種連携
セコム医療システム株式会社 セコム薬局杉並
○長野 一勢、太田 純子、岩井 孝史、大竹 由起、岡田 和晃、八幡 窓、
下田 美樹、岡田 美緒、黒岩 泰代

◆7月28日(日) 2日目:第1会場(弥生記念講堂)

パネルディスカッション2

(15:00~16:00)

薬剤師が担うセルフメディケーション

座長:株式会社アインファーマシーズ
日本調剤株式会社

川瀬 祐子
福岡 勝志

PD2-1 薬局でのプライマリケアに求められる臨床判断とOTCの適切な選択
—日本アプライド・セラピューティクス学会臨床判断ワークショップ—

昭和大学 薬学部薬学教育学
○木内 祐二

PD2-2 「薬剤師が行う臨床診断」秋田県薬剤師会の取り組み

秋田県薬剤師会
○高橋 寛

◆7月27日(土) 1日目:第1会場(弥生記念講堂)

ランチョンセミナー1

(12:30~13:30)

座長:聖マリアンナ医科大学 薬理学 松本 直樹

心房細動の抗血栓療法:大規模臨床試験のピットフォール

公益財団法人 心臓血管研究所
○山下 武志

共催:エーザイ株式会社

◆7月27日(土) 1日目:第2会場(臨床講堂1)

ランチョンセミナー2

(12:30~13:30)

座長:東京医科大学病院 薬剤部 明石 貴雄

CKDの薬物療法の実際 ~Key wordは高齢化と降圧剤~

東京女子医科大学 第四内科
○土谷 健

共催:第一三共株式会社

◆7月28日(日) 2日目:第1会場(弥生記念講堂)

ランチョンセミナー3

(12:15~13:15)

座長:琉球大学 大学院医学研究科 臨床薬理学 植田真一郎

新規経口抗凝固薬の適正使用:患者さんのために

東京女子医科大学 神経内科

○長尾 毅彦

共催:日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

◆7月28日(日) 2日目:第2会場(臨床講堂1)

ランチョンセミナー4

(12:15~13:15)

座長:東京女子医科大学病院 薬剤部 木村 利美

専門家って何? 一てんかんの診療を例に一

慶應義塾大学 医学部 小児科学教室

○高橋 孝雄

共催:興和創薬株式会社

◆7月27日(土) 1日目:第3会場(臨床講堂2)

症例検討ワークショップ①

(13:45~14:45)

座長:前昭和薬科大学 大澤 友二

呼吸器感染症

大分大学医学部附属病院 呼吸器内科

○時松 一成

◆7月27日(土) 1日目:第3会場(臨床講堂2)

症例検討ワークショップ②

(15:00~16:00)

座長:東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター 長沼美代子

在宅医療(高齢者心不全)

ゆみのハートクリニック

○弓野 大

◆7月28日(日) 2日目:第3会場(臨床講堂2)

症例検討ワークショップ③

(9:30~10:30)

座長:東京女子医科大学 循環器内科 鈴木 豪

精神科領域:うつ

東京女子医科大学 医学部 精神医学

○西村 勝治

◆7月28日(日) 2日目:第3会場(臨床講堂2)

症例検討ワークショップ④

(14:00~15:00)

座長:東京女子医科大学 循環器内科 志賀 剛

糖尿病

社会医療法人明和会 中通総合病院 内科

○角南 由紀子

◆7月28日(日) 2日目:第3会場(臨床講堂2)

症例検討ワークショップ⑤

(15:00~16:00)

座長:東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター 長沼美代子

てんかん

日本医科大学多摩永山病院 小児科

○川上 康彦

◆7月27日(土) 1日目:第1会場(弥生記念講堂)

一般演題1

(15:30~16:30)

座長:大和市立病院 薬剤科 田中 恒明
フィールド薬局 浜口 和己

1-1 ベッドサイドで初期症状をチェックできる副作用早期回避を目指したWebシステムの開発

東京理科大学 薬学部

○大登 剛、天津 怜、大西優香里、坂田 将貴、権 娟大、宮崎 智、
小茂田昌代

1-2 当院における簡易懸濁法普及への取り組みについて

川崎市立多摩病院 薬剤部¹⁾、聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部²⁾

○須貝 瑤子¹⁾、土師日香里¹⁾、加藤 利康¹⁾、金井 知子¹⁾、三枝 芳¹⁾、
島谷 桜子¹⁾、東 しずか¹⁾、町野 怜子¹⁾、藤本 知代¹⁾、赤津真衣子¹⁾、
坪谷 綾子¹⁾、松本 浩¹⁾、浅見 妥江¹⁾、濱野 公俊¹⁾、奥平 毅¹⁾、
坂下 裕子¹⁾、増原 慶壮²⁾